



定價 一部金貳錢 廣告五錢 印刷費五厘
 料(五字) 行(十二) 日(休) 日(祝) 日(祭) 日(發) 日(新) 日(開) 日(社)
 電話六三〇番

刊夕日七十二月十

戒むべき無産政黨
 常 警 論 壇
 政界通人

我國が愈々普選を實行する事となつて來たに付いては當然の歸結として茲に又政界に於て新しく情弊が出來て來る事は恐らく否定し得ない所であらう新しい情弊とは何か即ち新しい形を以て現はれて來る階級争闘であつて之無産政黨の出現である殊に此の無産政黨と稱するものが單なる富の差異によるものでなく他に頗る重大なる意義を含むのである事である、即ち彼等の稱

する所は無産階級の代表であるとするも其内容に於ては決して丈夫のものではない最も戒むべき秘密結社の共産黨が之を指揮してゐる事である、即ち無産階級を共産主義化して從つて無産政黨の名を藉つて共産黨らしめ之を以て政治的に共産主義の徹底に當らんとする事ある更に又恐るべきに最近の情報によればロシアの同主義者から多大の資金を是の間に交付されたと言ふ事でも彼等の領袖には無産階級者の代表者を見るべきものより更に優れたる智識階級に屬するものが多い事である、之等が表面的にこそ言動に幾分の困難はありと雖も隠れたる後援の下に巨大なる資金を投じ有力にして敏敏なる策動をなす時は茲に恐るべき階級争闘は單なるカイ級の争闘に止まらず實に我國家の組織に迄動搖を來さんかの恐れを懐かしむるものである、然らば之の情弊を如何にして救ふべきかは吾人學究の徒のみならず等しく政治家とするも乃至は一般國民に於て十分の考慮と攻究とを要するものであらうと思ふ

(つゞく)

淋病 婦人病 包專 門 院病村松 部科外

活版印刷の御用命を御願致します
 明鮮美優 嚙可速敏
 常警日刷部 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

紅葉のシーズン!
 貸切、乗合の御用命は電話四十七番をお呼願ます迅速と勉強は本店の自慢です
芹澤自動車部
 平町南町 磐城銀行向

サ ク
 良くて安いのは「弊舗の萬言よりも來客の一言に有り」

親切第一
 營業課目
 裝飾器具 電球・電線
 芝浦(モートル)特約店 日立(トランス)特約店
 電話機及各種乾電池 通信用器具 電機並諸機械修繕 致マス

平島縣町銀治町 會商業電平 番二一一平話電

懇切 迅速 勉強!
 粹な江戸形 染物と洗張
平島染物店
 本店 平町古銀治町 東京町七ノ廿
 支店 平島縣町銀治町 電話三四二八番

電機卜金物販賣部
 平停車場前 平電氣株式會社
 電話三四二八番

便利と經濟の親玉
 瓦斯で火をおこすには電氣・金物・特賣の「瓦斯火おこし」に限ります。炭がくずれず取扱に便利でございませす。特價たつた金貳拾錢です。御家庭用の釘抜キ又は金錠には「小松式四德金錠」をおすすめ致します。特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚きます。特製打及物はすべて請合ひます。經濟の親玉文化電、東洋電、大正電の御試用を願ひます
 どうぞ見るだけでも来て下さい
 平停車場前 平電氣株式會社
電機卜金物販賣部
 電話三四二八番

一度御試用を乞ふ
 價定 壹圓五十錢以上



目丁三町平城磐
堂地天

正札堂の既製洋服
 技術……飽くまで入念に
 品質……飽くまで優良に
 價格……飽くまで低廉に
 各學生用洋服大勉強
正札堂洋服店
 平町四丁目停車場通 電話呼出二三三四番

各種 體器 寒暖計 電氣
関内藥局
 電話四〇〇番

第二病室 増設
高久病院
 院長 醫學士 高久 忠清
 副院長 新潟醫學士 赤羽 菊雄
 藥局長 藥劑師 佐竹 一五番
 平町田町電話三二一五番

購買會ハ
 第一回 七十二台
 第二回 八十二台
 第三回 百十四台
 第四回 御批難毛戴キマセン
アズライム 自轉車
 「同自轉車ノ眞價ハ一度ノツタ御方ニ御聞キ下サイ」今回ハ第四回目デス現品先渡モ御相談シマス
 是非御入會ヲ願ヒマス
エビスヤ自轉車店

内科・外科・花柳病科 耳鼻咽喉科・婦人科
赤心堂病院
 平町田町電話四七五番

實家 質家 本具 位は
吉田田具部
 平島縣町銀治町 電話三五二番

カフエースズラン 電話五一四番

「齒並び自慢會」

審査長は誰れが適任か
奮つて御投票を乞ふ

本社は今同印刷部を設けた記念として一つの催しを試みる計畫で茲にお知らせ致します。夫れは身体の強健を全ふる上にて於て口腔の衛生を忘れてはならぬと云ふ趣旨に基いて開く「齒並び自慢會」であります。つまり丈夫な齒並びの人を優勝者とし賞金や賞品を贈つていさゝか口腔の保健に貢献する企てであります。日時や場所其他具体的な事項は改めて発表しますが其前に先づつて「審査長を誰れにしてよいか」に就き廣く讀者諸君の御希望をお聞きしたいと思ひ投票の形式でその氏名を募ります。ゼヒ左記要項に依り奮つて御投票あらん事を望みます。

（審査長候補者）平町在住の齒科醫一名、（宛名）平町長橋町卅五、常警毎日新聞社（締切）本月卅一日（用紙一隨意）（注意）投票點數は随時發表し最高點者に審査長を囑託す

第一回得點發表

- 三 票 佐藤 武之君
- 三 票 萩原 義雄君
- 二 票 森合 芳男君
- 一 票 織田 豊太郎君
- 一 票 原精 一君
- 一 票 遠藤 爲吉君

月明に乗じて

平町の空を飛ぶ

けふ霞ヶ浦と仙臺間を
本邦最初の試み

霞ヶ浦航空隊の一三式艦上攻撃機二機を以てする霞ヶ浦仙臺間八十海里の長距離夜間飛行の使用機は何れも夜間着陸の新しい装置を施し霞ヶ浦滑走場では探照燈その他の着陸設備を整へ二十七日正午霞ヶ浦を出發仙臺宮城野原着午後四時半宮城野原着午後四時半宮

御警衛の當務者 天地神明に 祈願をこむ

涙ぐましい一挿話

攝政宮殿下が大演習御統裁を了へさせられ一昨二十五日を以て無事御歸還あらせられたことは國民の均しく歡喜に堪へざる處で而も一路の御安泰をいのり奉たことは萬民些かも異なる處とはないが殊に直接御警衛の任に當る鐵道及警察當局がその間荷くも遺漏粗忽なきを期すべく如何に神かけて夢寐之を祈念したことで

あらうか、茲にその間の消息を如實に物語る一挿話として

仙臺驛勤務車掌坂本惠三郎（五）氏は當日の御召列車に乗車申し上ぐべき恩命に接するや此光榮ある責務を辱ざらんとて夙夜心膽を砕きその詳細を郷里なる石城郡夏井村縣社大國魂神社社掌山名陸文氏に書送り偏に天地神明の加護によりて荷も毫末の過誤失態なきやう懇篤祈願方を依頼すると同時に身亦屏常齋戒自重してその事なきを祈念したとの事之と同様の涙ぐまじき感懷乃至事實は今次攝政宮殿下の行還啓前後に於て在所に行はれたことであらうと想像するに餘りある

ものがあ
温泉小唄の
名妓が来る

近く平町に
松竹キネマの温泉小唄で一躍有名になつた山中節の名妓照葉の一行が近日平町へ來るとの事であるから「樂師山から湯屋屋を見れば湯女が髪結ふて身をやつす」の情感豊かな嬌々たる小唄情感に接する事の出来るも間もない事であらう

京阪の旅から
十月二十三日（第二信）
平町 平町京阪旅行團
昨夜の八時に東京驛を

後にした汽車は暗を縫ふて西へ西へと走る。一列車を占領した一同は唱歌を歌ふ者もあれば談話を花を咲かせるなど愈々眼は光る。一帯の山連り音に聞く箱根の天嶮で、點々として電燈の輝いてゐるのは紡績會社の箱根八里は馬でも越すか越すに越されぬ大井川に此邊等と騒いでゐる中に静岡、濱松、豊橋も飛ぶ様に過ぎて夜が白々として遠山が灰色の曲線を描いて見ゆる様になつたのは岡崎邊からである、空は蒼く車輪の響も快よく感ぜられた廣い穂々と黄金の波打つ稲田の中を六時二十分である。名古屋驛には名古屋女子師範學校の伊藤校長先生の御出迎を受けられてそれか

ら名古屋城を見學した。金の賊は威を天空に張つて一入歴史的の想像を強くした。商業にも工業にもすばらしい發展振りを見せてゐる、名古屋に名残を惜んで宇治山田に向ふ

稀代の兇賊
金づくめの
窃盜捕はる

今曉二時平署川上、猪狩の兩刑事が白銀町街路を密行中金づくめの舉動不審者を認る平署に引致取調べたる所山形縣西村山郡西村山村太字西根澤生利前科三犯齊藤金次三三とて静岡、盛岡から東京方面に掛けた盗が現金三百數十圓を處持しブラチナの指輪をはめて居るが何れも贓品であると

新川町の火防

平町を低空飛行し
報告球を落下す

別項所載月夜飛行の二機は本日午後一時五分頃平上空を低空飛行し平第三小學校正門前及び敷中に夫々ゴムの報告球を落下し仙臺に向けて機影を没し去つたが同ゴム玉には紅白のキレ地

置き子供等の濫用をも防ぎ又火のつき易い場所に放置するが如きことなきやう新川町在住者一般に對して督促して居るが好結果で追々町民全体にも獎勵すべく考究中である

平町を低空飛行し

此報告球を御拾ひの方は直ぐ警察署に御届け下さい警察署長への御願は此中に封入してあります霞ヶ浦海軍航空隊 室井少佐

ご認めあり拾得者が直ちに平署に届け出た爲め開封せる處左記の如き
大正十四年十月廿七日
霞ヶ浦海軍航空隊 室井少佐
警察署長殿
御面倒恐れ入候へとも本報告球御接受に相成候は直ちに土浦警察署に二機

酔ふ勿れと

尾形主事語る

石城郡では農村が米と繭の高値から非常に好況であるがこの際これを浪費せしめぬやう種々の方法を研究してゐるか先づ各町村の産業組合の充實を圖ることが最も適切であると各組合に對して實行せしめることになつた爲め不振に手を焼いて

好況に……
酔ふ勿れと
尾形主事語る

したのを金串にさし、火にかけて焼き上げ、煉り味噌を塗りつけざつと焙つて串をぬき皿に盛り、抽子を卸してふりかけます、煉り味噌は、味噌、砂糖、味淋、煮出し汁を鍋に入れ、全部一所にねり合せて、最後に玉子の黄味と味の素を加へて火より下ろします、



松茸の田樂

松茸は笠と蓑を切り分け莖は五分位の厚さにたて目に切り、笠そのまゝ鹽水に浸

▲松茸のクリーム煮
は亂切とし鹽水に浸しておき小鍋にバターをどかしメリケンコ少し加へて手早く混ぜ合せ、牛乳を徐々に加へ延ばして鹽、胡椒、味の素セリ酒を味を付け前の松茸の水気を切つてクリームの中に加へ、靜かに十分間位煮込みます